

令和3年3月5日

園児 保護者 各位

学校法人日高学園

認定こども園日高ななつ星 園長 千葉 正睦

認定こども園日高さくらの木 園長 千葉 洋子

令和2年度学校法人日高学園学校評価の公表について

浅春の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本園の教育保育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜りまして心より厚く御礼申し上げます

さて、標記につきまして過日、教職員による自己評価、保護者様によるアンケートを実施し、その結果を学校評価委員会に報告し、関係者より評価をいただきました。

つきましては、保護者の皆様に学校評価の内容を別紙のとおり報告いたします。

保護者の皆様におかれましては、ご多用のところ沢山の声を園に届けていただきましたこと心より厚く御礼申し上げます。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の園の運営及び教育活動に役立てて参りたいと存じます。

なお、アンケート結果につきましては、事務負担軽減やコスト削減並びに広く情報公開するために、来年度よりホームページで公開いたします。なお、ご自宅にパソコンやモバイルなどがなく対応できない旨のお申し出があったご家庭には、紙媒体で配布させていただきます。

記

1 配布資料

- ① 学校評価委員会報告書
- ② 自己評価報告書 (日高ななつ星、日高さくらの木のうち、お子様の所属園のもの)
- ③ 保護者アンケート報告書 (日高ななつ星、日高さくらの木のうち、お子様の所属園のもの)
- ④ 給食アンケート結果 (日高ななつ星、日高さくらの木のうちお子様の所属園のもの)

2 令和2年度学校法人日高学園学校評価委員会報告書

- ① 日時 令和3年2月19日(金) 午後4時から
- ② 場所 認定こども園日高ななつ星 3歳以上児棟 ゆり組
- ③ 次第
- ④ 学校評価委員

氏名(敬称略)	選任区分
辻山 文恵	学校法人日高学園評議員
千葉 二郎	学校法人日高学園評議員
岩木 吉幸	学校法人日高学園評議員
高橋 健太郎	学校法人日高学園評議員
鈴木 奨 (欠席)	学校法人日高学園評議員
高橋 豊和	学校評価委員(学識経験者)
小澤 絹子	学校評価委員(学識経験者)
高橋 智	認定こども園日高ななつ星PTA会長
小野 優子	認定こども園日高ななつ星PTA副会長
佐藤 貴幸	認定こども園日高さくらの木PTA会長
小野寺 信弘	認定こども園日高さくらの木PTA副会長

【説明者】

氏名	所属・職
千葉 正睦	認定こども園日高ななつ星 園長
千葉 洋子	認定こども園日高さくらの木 園長
千葉 真紀	認定こども園日高さくらの木 副園長・事務長
川原 美智子	認定こども園日高ななつ星 主幹保育教諭
菊地 美樹子	認定こども園日高さくらの木 主幹保育教諭

⑤ 学校評価委員の意見(評価)の要約

【高橋豊和委員】

学校評価

- ・教職員一人ひとりのコメントを読むと、目標の内容と今後の課題についてよく考えていると感じた。また、目標について全員で考える取り組みが大変良い。
- ・次年度は目標の言葉の選び方を検討してほしい。
- ・昨年度との比較がなく、わかりにくい部分があるのでどのように変わったかを示したほうが良い。

保護者アンケート

- ・園のことをよく考えている意見が書かれている。
- ・肯定的な意見が9割ということは、園のことがよく理解されているということ。今後も継続してほしい。

【小澤絹子委員】

学校評価

- ・自己評価の意見をオープンにし、今年度の評価と次年度の改善点をわかりやすく共通理解していること、また、コロナ禍で外部研修の機会が行えない中でZOOMを活用して研修し、内容も充実しているようで大変良いと思う。

- ・体の健康と心の安定をもって保育業務に努めていただきたい。
- ・地域とのふれあいを持つ中で、あいさつはとても大事。あいさつのできる子に育ててほしいと願う。
- ・幼稚園は自分の気持ちを素直に伝える力など、子どもの大きな成長の姿が見られると思うが、遊びを主体にした自由保育は、保育者の力量・子どもを見取る力が問われるところでもある。頑張してほしい。

Q 月案週案日案については、どの様に計画しているのか。

A 教育保育要領を基本とし、園の全体的計画及び教育課程を立て、年齢、クラス毎に作成している。就学前の5歳児については、「幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿」と子どもたちの育ちを照らし合わせながら作成している。

Q 大きく切り替わった保育とは、何がどのように変わったのか。

A 教師主導の一斉保育や行事中心の活動ではなく、子どもがやってみたいことを保育者がサポートする、子どもの主体的な活動に移行している。特に今年はコロナ禍で行事や対外的な活動が制限されるなかで、子どもたちの主体的な活動が盛んに行われた。

Q 小学校での不登校の児童が社会問題になっているが、認定こども園で不登園気味のお子さんがいるのか伺いたい。

A 過去においてそのような傾向がみられる子もいた。

【辻山文恵委員】

- ・新型コロナウイルスの流行により、行事や生活が変わったと思うが、制限のある中で先生方が協力して活動している姿を見て素晴らしいと思った。
- ・保育時間が長い中で、職員会議に出られる人や時間は限られるので、情報共有はしっかりと行ってほしい。そういった点で、スラックをうまく活用していると思う。

【高橋健太郎委員】

- ・保護者アンケートで、就学への不安についての項目があるが、特にも初めて就学させる保護者は少なからず不安を持っているので、子どもの就学経験のある保護者の体験談を聞く機会があれば不安が少しでも和らぐのではないかと思うので、設けてみてはどうか。そういった機会があれば、自分自身も協力したい。

【千葉二郎委員】

- ・新型コロナウイルスの流行で色々なことが制限されているが、子どもたちの姿が委縮しておらず、のびのびとしている。良いこと。
- ・写真や画像の発信頻度が高いようだが、自分の子どもが写っている写真が新聞などのメディアに載ることに抵抗がある家庭や、あまり写真に写っていない子どもへの配慮もお願いしたい。

Q 写真へ写らない子への工夫について

A 写真販売は、ななつ星の年長児のアルバム作成に関連して行われていることから、個人の写真をメインに写すものではないためベストショットというものが出にくい。しかしながら、アマチュアカメラマンを募り無償で撮影してもらおうという案については、写真管理、肖像権等々問題が多い。

また、プロカメラマンが入って一人ひとり写すというのは、コスト的に保護者の方が気軽に負担できるものとはなりにくいと考えている。

職員がそれを担うには負担が大きくなり、現在解決策が見えていない。

【岩木吉幸委員】

- ・「学びの旅」は子どもたちの体験がよく見えて、とてもいいと思う。

【高橋智委員】

- ・日々の活動の写真や画像の発信頻度が高く、内容がわかりやすい。また、ICTなど新しい技術を先取りしているので続けてほしい。
- ・外国にルーツを持つ子が増えているように感じる。そういった子どもたちを積極的に受け入れていただけてありがたい。

【小野優子委員】

- ・子どものことや、わからないことなどをどの先生に聞いても細やかに対応していただけることで、保護者との信頼関係をとても大切にしていることを実感している。また、子どもと先生との間の信頼関係も築かれていることも感じる。

【佐藤貴幸委員】

- ・新型コロナウイルスの流行中で行う行事には、保護者間で不安な声も聞かれたが、行事を終えると少人数での開催だけでできてよかった等、感謝の意見が見られる。

【小野寺信弘委員】

- ・今年は新型コロナウイルスなど色々と大変にも関わらず、職員の方々には適切に対応していただき感謝いたします。
- その中でも、子ども達に色々な経験や遊びなどさせていただきありがとうございます。